



## 小貝川で鮭の稚魚を放流しました



大きくなって帰ってくるよ

鮭の稚魚放流をとおして自然や命の尊さを伝えようと、勤行川や小貝川流域の子ども達を中心とする地域の皆さまによって、鮭の稚魚の放流が行われています。

2月27日小貝川 新大橋



2月22日 勤行川 welcomeサーモンat筑西



2月4日小貝川4.2km地点



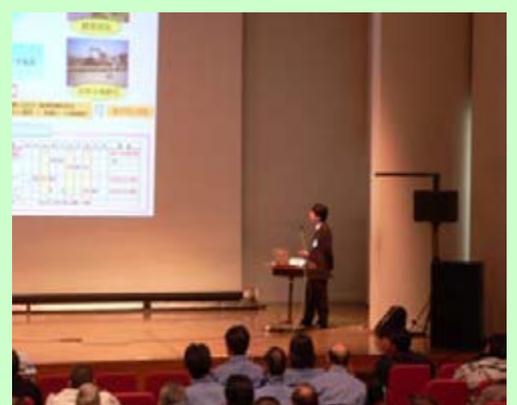
地元の小学生やNPOの方々が稚魚を放流し、旅立ちを見送りました。



4年後の私を見てね

## 樋管操作支援システム操作説明会を実施

洪水時における樋管等の操作状況をリアルタイムで把握し、適切な河川管理を行うための樋管操作支援システムを試験的に導入します。そこで4月からの運用開始に先立ち、対象樋管管理者等を対象に平成21年2月26日説明会を行いました。当日は、樋管操作員・担当自治体・施設許可受者及び管理者等計195人の参加がありました。



「パートナーシップwithリバープロジェクト」(地域との川を軸とした協働・連携事業)

伐採木を処分するのではなく、沿川自治体19市町と協働・連携し「災害時の資材」や「河川の維持管理・流域のイベントでの活用」、「利用する人に優しい川づくりへの利活用」をすることにより、『河川行政への理解』及び『防災意識の向上』を目指します。

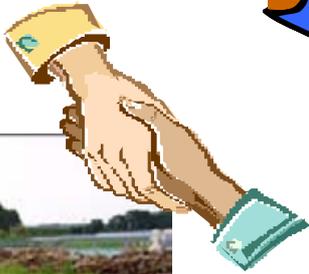
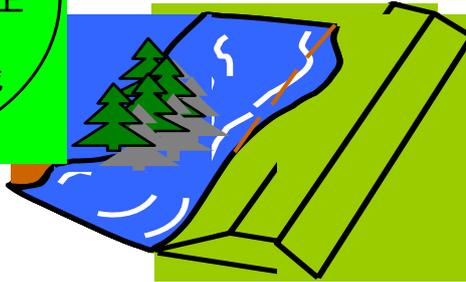
**国交省**  
下館河川事務所

- ・河川事業への理解向上
- ・防災意識の向上
- ・伐採木処理コスト縮減



**自治体**

- ・行政サービスの向上
- ・防災意識の向上
- ・材料費のコスト縮減



**住民**

- ・治水安全度の向上
- ・利便性の向上
- ・生活環境の改善



地域との川を軸とした協働・連携事業

広がっています



伐採木が協働連携で椎茸の原木になりました

河川管理上支障となっている河川敷に生えている木を環境に配慮しつつ計画的に伐採します。



3月5日 TBSイブニング5で放映  
**河川敷の木 有効利用**  
川の流れの阻害となっている河川敷の木を伐採し、有効利用するという観点から放映されました。

